

圧密沈下計算 DECALTO バージョンアップ内容

Ver. 15.1 【2011/9 リリース予定】

バージョンアップ

基準・指針

- 国土技術研究センター『柔構造樞門設計の手引き』の軟弱地盤における側方変位を考慮
- 日本港湾協会『港湾の施設の技術上の基準・同解説(2007年)』の二次圧密計算機能
- 日本道路協会「道路土工-軟弱地盤対策工指針」(2011年度版)に対応※

計算機能

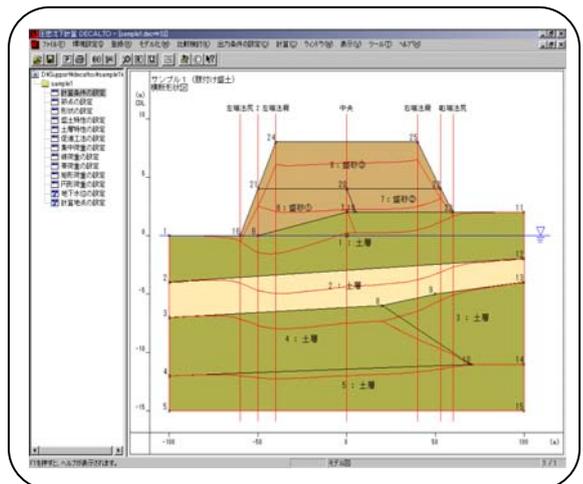
- 換算層および各層の両面排水、片面排水(上面排水、下面排水)の選択機能
- 地下水位低下工法(消失した浮力分を下向きの荷重として载荷)への対応
- 任意の地中増加応力の計算。(例)任意の地層において、建物荷重をある分散角で拡大した地中増加応力として計算する機能
- 任意の指定日から促進工法を設定できる機能

入力機能

- 入力する地層構成節点の制限値拡大
(X方向計算地点の拡張 100 → 200)

出力機能

- 解析結果図のスケール統一(各点で出力する結果の最大値を統一)



腹付け盛土の横断形状図

※指針改訂が遅れているため、今回のリリースには含まれません。この指針への対応はV15.1のカウンタアップ(無償)で行ないます。

過去のバージョンアップ

Ver. 14 【2007/9 リリース】

- 計算の途中段階の初期応力、増加応力、Cv値等の出力
- 1つの土層において、真空载荷圧の段階载荷と除荷が行なえる機能
- すべての荷重段階の载荷日同日施工機能
- (財)国土技術研究センター「柔構造樞門設計の手引き」(1998年)の即時沈下量式の対応
- 作図時間-圧密度曲線において、計算条件の設定で出力日が設定されている場合、その出力日における圧密度の表示を追加
- 過去バージョンデータへの書き出しを追加
- 暦日指定において2038年1月19日以降の設定に対応
- メイン画面の子画面の切り替えアイコンをツールバーに追加
- Windows7に対応

Ver. 13 【2005/2 リリース】

- 制限値を拡張(点数、層数、土層設定)
- 盛土载荷指定(指定なし、天端指定、高さ指定、層厚指定)機能
- 盛土施工ごとのCOSTANA連携ファイルの自動作成機能
- ズーム機能をラバーバンド方式に変更
- ポリラインDXFファイルの読み込みを可能にしました
- 地層名が任意に入力できるようになりました
- 真空圧密工法への対応
- リバウンド計算に「最終沈下量は除去を考慮しない方法(時間沈下曲線には反映されず)」
- 床掘り/埋め戻し機能
- 時間変化データ一覧のCSVファイル出力

橋梁の耐震設計支援 EARMEST レベルアップ内容

Ver. 6.7 【2011/9 リリース】

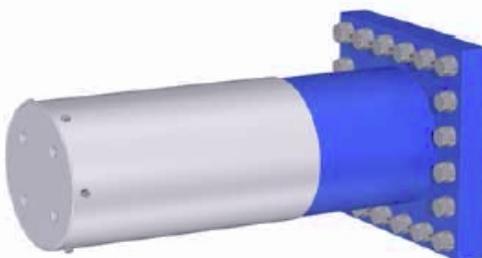
レベルアップ

計算機能

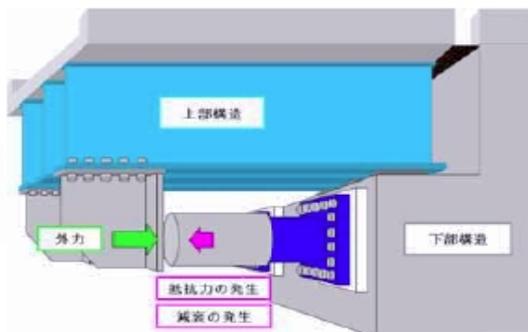
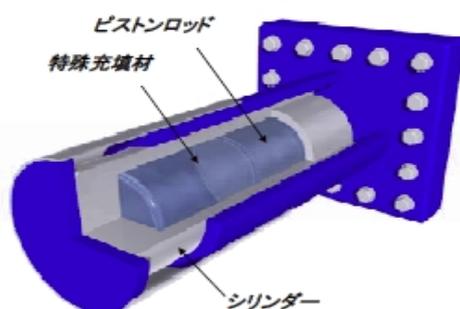
■ オイレス社製品の『復元機能付き片押しダンパー-BMR』の非線形履歴特性に対応

BMR の特徴

- +
 - 特殊充填材の特性により、単独装置で『トリガー』『減衰』『復元』の3機能を実現することができる。
 - 温度依存性が極めて小さいため、過酷な環境下でも安定した性能を発揮する。
 - 地震波の繰り返しに対して減衰性能を維持し、耐久性に優れている。
 - 抵抗力を複数用意した標準品より、構造物の規模や特性に合わせた選定が可能である。
 - 特殊充填材は難燃性のため、火災時など燃焼の危険がない。
 - 特殊充填材は経年変化を起こさず、安定した物質である。



BMR の構造と働き



構造

装置は、シリンダー、ピストンロッド等で構成され、シンプルな構造となっている。

働き

BMR は、地震や強風による構造物の揺れを低減するための制振装置である。

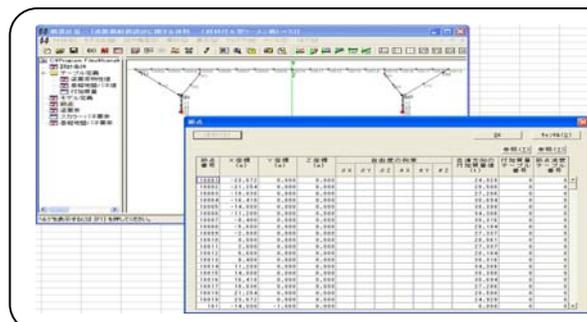
装置には、トリガー抵抗力によるロック機能が備わっている。従って、装置はトリガー抵抗力を超える外力で稼働し、抵抗力を発生する。

また、外力が除去されると復元力が発生し、初期状態に戻る。

※ 復元機能付き片押しダンパー-BMRの詳細は、こちらから

入力機能

■ 節点番号、要素番号の桁数を拡大（4桁 → 5桁）



節点番号、要素番号の桁数拡大